

一期一会

岡崎市立恵田小学校 12月号

校長室だより

～ 2020年へ 今 想うこと ～

暦のうえでは大雪。恵田の山々もここに生きる生き物たちも、本格的な冬への準備を整えています。12月16日、恵田一面は見事な雪景色となりました。登校してくる子供たちが「先生、見て、すごくきれい。」と言葉では言い表せないほどの自然の美しさに感動していました。私は、こうして自分を包む自然に素直に感動できる恵田っ子の姿に、厳しい寒さの中、心がぼかぼかに温まりました。

あの猛暑の中2学期が始まって約4か月。一日一日が子供たちにとってもそして地域の方々にとっても、「今までとちがう、新たな毎日」だったと思います。ある日学校を回っていると、冷暖房を完備した空調機、子供一人一人が使えるMyアイパット（1年生・2年生・3年生には3学期に届きます）、見学に行けない5年生のため三菱自動車岡崎様と連携した「車づくり」についてのリモート授業、その風景にふと足がとまりました。このような学びが実現できる時代がこんなにも早く来るとは、正直夢にも思いませんでした。岡崎市ではほんの数年前までは、猛暑の中3階は朝8時には37度に近い状況の中、おせかえるような教室で子供たちは学んでいました。授業を1時間終えた先生達の額からは、玉のような汗が噴き出していました。子供たちが生きていくこれからの社会や環境が、大きく変化をしていくことを2020年が終わろうとしている今、感慨深く想います。



それとともに、もう一つ心から想うこと「学校には学校でしか学べないことがある」ということです。自分とは違う友達の考えを知る話し合い、大好きな友達と夢中で秘密基地を作ったり宝石みたいな木の実を拾ったりできる休み時間、涙がでるほどドキドキしても苦しくても最後までやり抜く数々の挑戦、たくさんの学びを教えて下さる地域の方々の優しさ、「ごめんね」「ありがとう」「大好きだよ」時には涙や胸いっぱいという言葉であふれる時間、まだまだ数えきれないたくさんの経験が子供たちのかけがえのない成長を支えます。忘れられない瞬間があります。ずっと大切に交流を深めてきた岡崎聾学校との交流の場面です。始めこそ緊張していた子供たちですが、すぐに仲良しに。肩をトントンと叩いて合図、やった！という瞬間は目を見てガッツポーズ、ふと見ると何と互いに手話で秘密の作戦を伝達、その自然で優しい子供たちの姿に感動しました。子供たちはこれからもずっと、たくさんの人と触れ合い関わりながら同じ時間を過ごしていく中で、かけがえのない学びを経験していくことを確信します。あと数日となった2020年。かけがえのない時間を47人の恵田っ子たちと共に過ごすことができたこと。本当にたくさんの方々からのお支えに、心からの感謝と共に、新たな未来への平和と希望を切に願います。

新たな未来

～ 2021年に向けて

